

Fukuoka 地域サミット 2013

産学官民一体で取り組む成長戦略

福岡地域戦略推進協議会(以下、FDC)では、2011年に発足以来、福岡都市圏が東アジアのビジネスハブとして、多様な人が集う持続可能な繁栄した地域になることを目指し、国際競争力の強化に向けた地域戦略を策定しました。その後、重点分野に基づく5つの部会(観光/環境/食/人材/都市再生)を立ち上げてプロジェクトを決定し、事業体の組成を視野に事業計画を策定し、推進しております。今回、FDCのこれまでの活動や今後の展望を報告するとともに、部会ごとのセッションを通じて、産学官民が一体となって地域戦略に取り組む重要性を確認し、共有する場を設けました。

FDCの戦略

「交流の活性化により、質を重視した成長をはかる」成長の源泉の再構築

1 域外に向けて挑戦する環境をつくる

2 人材の多様性を強化する

3 革新的・創造的な交流の場をつくる

福岡都市圏は、九州域外から稼ぐ産業(移出産業)、人口増加、支店経済という3つの源泉によって成長を実現してきたが、積極的に手を打たなければ、人口増加と支店経済は今後の10年で減衰していくと予測されている。また、移出産業にはまだ成長の余地があり、アジアへの近接性といった強みを活かしてきていない。従って、質を重視した成長をめざして移出企業を増やすという視点から「域外に向けて挑戦する環境をつくる」、人口の流入・定着を増やすという視点から「人材の多様性を強化する」、ビジネスの中核機能を強化する視点から「革新的・創造的な交流の場をつくる」ことで、これら3つの源泉を再構築する。

PROFILE 登壇者プロフィール

10:00~10:15 開会挨拶

松尾 新吾 FDC会長

高島 宗一郎 福岡市長

10:15~10:50 報告

後藤 太一 FDC事務局長

10:50~12:00 鼎談 クロストーク「私たちの地域でつくる未来」



堀 義人
グロービス経営大学院
学長

京都大学工学部卒、ハーバード大学経営大学院修士課程修了(MBA)。住友商事株式会社を経て1992年株式会社グロービス設立。2006年グロービス経営大学院を開学、学長に就任。世界経済フォーラム(WEF)が選んだ New Asian Leaders日本代表を歴任し、現在は、経済同友会幹事を務める。2008年に日本版ダボス会議である「G1サミット」を創設し、2013年4月に一般社団法人G1サミットの代表理事に就任。同月、グロービス経営大学院福岡校開校。



塩田 真弓
テレビ東京アナウンサー

福岡県出身。立教大学社会学部在学中、イギリスに1年間留学。卒業後、99年テレビ東京にアナウンサーとして入社。2002年7月報道局経済報道部に異動。2008年に結婚し、2009年からの育児休暇を経て2012年4月、2年半ぶりに職場復帰。4歳と2歳の男の子の母親でもある。現在は経済トーク番組「マネーの羅針盤」や、経済報道番組「マゼランの魂」、旅番組「空から日本をみてみよう+」ナレーションなどを担当する。



銅山 徹
一般財団法人日本経済研究所
チーフエコノミスト・専務理事・
地域未来研究センター長

北九州市出身。早稲田大学法学部卒。同年、日本開発銀行(現日本政策投資銀行)に入行。2000年米国スタンフォード大学国際政策研究所客員研究員。2001年日本政策投資銀行九州支店企画調査課長、2009年同行産業調査部長、2012年より現職。テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」のコメンテーターなど多様なメディアでも活躍中。専門分野:産業政策。

13:30~15:30 テーマ別セッション

観光部会

MICE誘致を拡大するために必要なこと

ゲストに国際的なMICEのスペシャリスト組織であるMPIジャパンチャプター会長の山本 牧子氏をお招きし、MICE関連事業者による取り組みのプレゼンテーションや会場の皆様とのセッションを通じて、MICE誘致力を高めるために必要なことは何かを明らかにします。

13:30~13:35 部会長挨拶
13:35~13:50 観光部会の取り組みについて
13:50~14:20 基調講演(山本 牧子)
14:20~14:50 MICE関連事業者によるプレゼン
14:50~15:30 Q&Aセッション(パネルディスカッション)



〈ゲストスピーカー〉
山本 牧子
MPI ジャパンチャプター
会長



〈コーディネーター〉
帆足 千恵
株式会社まごころインバウンド
観光支援事業部マネージャー



〈パネリスト〉
西村 真規子
株式会社コングレ
執行役員九州支社 支社長



〈パネリスト〉
嶋田 和泉
ヒルトン福岡シーホーク
営業部 部長



〈パネリスト〉
喜田 信基
株式会社JTB九州
地域活性化事業推進室 室長

環境部会

福岡版スマートシティ構想に向けて

福岡版スマートシティのあるべき姿、特に「モビリティや国際化への取組み、安全性と利便性が高い充実した都市機能に向けた実証実験を通じ、日本ならびに東アジアのモデル都市を目指す福岡」をテーマに議論いたします。

13:30~13:45 部会長挨拶および
環境部会について
13:45~15:00 パネルディスカッション
「福岡版スマートシティ構想に向けて」
質疑応答
15:00~15:25
15:25~15:30 閉会挨拶



〈モデレーター〉
安浦 寛人
FDC 幹事/環境部会長
(国立大学法人九州大学
理事/副学長)



〈パネリスト〉
渡辺 克也
総務省 大臣官房審議官
(情報流通行政局担当)



〈パネリスト〉
柴崎 亮介
国立大学法人 東京大学
空間情報科学センター 教授



〈パネリスト〉
梶浦 敏範
株式会社日立製作所
情報・通信システム社
上席研究員



〈パネリスト〉
浦 正勝
西鉄情報システム株式会社 理事
ソリューション本部 副本部長



〈パネリスト〉
天野 宏欣
公益財団法人
福岡アジア都市研究所
主任研究員

食部会

福岡の食の魅力

地域内外の食産業の第一線でご活躍されている方々をお招きして、生産、流通、外食、海外展開等の視点から福岡の食の魅力などについて対談を行います。

13:30~13:45 部会長挨拶および食部会について
13:45~15:00 パネルディスカッション
15:00~15:25 質疑応答
15:25~15:30 閉会挨拶



〈パネリスト〉
中村 光明
福岡市園芸振興協会
会長



〈パネリスト〉
中尾 茂
株式会社トキオ福岡
代表取締役副社長



〈パネリスト〉
吉富 学
株式会社一蘭
代表取締役社長



〈パネリスト〉
徳島 建征
株式会社トクスイコーポレーション
代表取締役社長



〈パネリスト〉
クリスチャン R. ボーダー
ヒルトン福岡シーホーク
総支配人



〈モデレーター〉
合野 弘一
福岡市経済観光文化局 理事
食部会 副部会長

人材部会

Citizen-Led Innovation - 市民発イノベーションが地域の未来をつくる

市民発イノベーションが盛んな北欧都市。その代表格であるコペンハーゲンからゲストを招いた講演を行い、また、市民との共創によるイノベーションに期待を寄せる企業、市民を巻き込んだ地域の革新に取り組むNPOの代表者を交えて対談を行います。※会場での言語は、日本語・英語(日英同時通訳)で行われます。

13:30~13:35 部会長挨拶および人材部会について
13:35~14:05 キーノートトーク
14:10~14:40 パネリストトーク
14:40~15:30 パネルディスカッション



〈ゲストスピーカー/パネリスト〉
Anne Dorthe Josiassen
デンマーク・デザインセンター
最高執行責任者



〈パネリスト〉
藤岡 定
anno lab
代表



〈パネリスト〉
山内 泰
NPO法人ドネルモ
代表理事



〈パネリスト〉
近藤 力
NTTコミュニケーションズ株式会社
担当課長



〈モデレーター〉
田村 大
Re:public.Inc
共同代表

都市再生部会

世界から人を引きつけるFukuokaをつくる

ゲストに世界の都市開発に精通した専門家をお招きし、世界の先進事例を踏まえた都市開発の現状やあり方に関する基調講演を行うとともに、パネルディスカッションを通じて会場の皆様とともに、世界から人を引きつける都市Fukuokaの姿について考えます。

13:30~13:35 部会長挨拶
13:35~13:50 都市再生部会の取り組みについて
13:50~14:30 基調講演①(佐々木 宏幸)
14:30~15:10 基調講演②(出口 敦)
15:10~15:30 質疑応答・意見交換



〈ゲストスピーカー〉
佐々木 宏幸
FTS Urban Design 代表社員
明治大学理工学部
建築学科専任准教授



〈ゲストスピーカー〉
出口 敦
東京大学大学院
新領域創成科学研究科
社会文化環境学専攻・教授